

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣商業高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年7月14日(水) 10:00~11:30
- 3 開催場所 大垣商業高等学校 情報応用総合実習室II
- 4 参加者

会長	山田 雄治	朝日大学経営学部 教授
副会長	東 多恵子	(株)KOH0 プラスワン 代表取締役
委員	加藤 正博	大垣市開発町 自治会長
	近藤 伸子	和合地区 民生委員
	市原 小百合	本校PTA 副会長
	池戸 美奈子	本校PTA 会計監査
	箕浦 之治	大垣観光協会 理事
	石坂 信一郎	岐阜協立大学 副学長
	山田 康雄	大垣西ロータリークラブ
	正田 嗣文	大垣ビジネスサポートセンター センター長
学校側	佐野 浩	校長
	野々山 伸一	副校長
	岡戸 邦仁	教頭
	林 孝美	教頭
	伊藤 由美子	事務部長
	瀧瀬 サオリ	教務主任(全日制)
	井村 仁美	教務主任(定時制)

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校経営計画・教育課程の編成・学校の組織編成に関する事項について
 - ・学校経営ビジョン、指導の重点及び学校経営計画
(教務部・生徒指導部・進路指導部マニフェスト)
- (2) 地域と連携した教育活動に関する事項について
- (3) スクール・ポリシー(案)について

意見1: 地域連携の授業を参観したが、外部講師のアドバイスが実務に沿った内容で適切であった。是非、生徒の皆さんは、実践してほしい。

意見2: 地域の公共交通の視点から、鉄道の利用客層や公共交通を利用する目的、季節に影響を受けやすい観光の特性について、事前学習がなされているか。

⇒ 公共交通等について学ぶことは大変意義深く、本日の取組以前に、連携企業先から説明をいただいている。

意見3：一方通行の指導から、生徒たちが主体的に考え、取り組む姿があり、とてもよいと思う。地元企業の方から学ぶ機会は、今後も継続していくとよい。このように地元企業と連携を深めることが、地域の方との関係性を築いていくことにつながる。

意見4：授業だけでなく学校行事等でも母校愛を育むことができる。ある。高校3年間は、大切な3年間である。母校愛を育むことが、地域愛につながっていく。

意見5：生徒一人一人が主語にという説明があったが、会社では、少人数のチームでスピードアップして対応していくことが求められている。学校においても、生徒一人一人に役割を持たせ、自己肯定感や達成感が得られる取組を考えていくとよい。

意見6：スマホ、SNSは生活に欠かせないものになっている。スマホを活用したPR方法を考えるとよい。

委員7：調査研究をしながら提案していくことは大切なことであり、そのような力を育成することが必要である。

委員8：今の高校生は、Z世代と言われている。若者の感性は我々と異なる。高校生の感性を活かしてほしい。

委員9：生徒たちが、SNS等を活用して、どのように開発商品を宣伝していくのかを見てみたい。また、高校生の感性で作ったSNS等が、私たちの世代にどう受け入れられるのかについても見届けたい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・スクール・ポリシー（案）を示し、説明を行った。第2回学校運営協議会において委員からの意見をもとに検討する。
- ・地元企業等と連携しながら、地域に誇りを持って住み続けたいというまちづくりをテーマに、SDGsの視点で学びを深めようとしている本校の教育について、様々なお立場から意見が得られた。今後の学校運営やふるさと教育推進の参考としていきたい。